

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|---------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 深夜補導の実施 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 114 | | |
| コスト | 事業費 | 平成26年度執行額 | | 平成27年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 6,156 | 千円 | 8,600 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 → | | | | 【Do】実施 → 【Check】評価 | | | |
|------------|--|---|-----|--------------------|------|------------------------|--|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | 青少年がたむろしそうな深夜営業の店舗、駅周辺、公園などを巡回し、深夜はいかいをしている青少年に声かけを行い、帰宅を促すことにより、事件に巻き込まれたり生活習慣が乱れたりすることを防止し、青少年の健全な生活を確保します。 | | | | | |
| 活動計画 | 長期休業中を中心に、22時から翌日4時まで、市内全域約50箇所において、民間警備会社による巡回を実施します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | → | 【活動の状況】 | |
| | パトロールにおける声かけ人数 | 2,587 人 | — 人 | 525 人 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 深夜はいかいをしている青少年が事件に巻き込まれたりすることを未然に防ぎつつ、現状を把握・分析し、今後の補導活動に活かす為、深夜はいかいをを行う青少年への声かけ人数を指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） — | | | | | | |
| | （最終目標と最終年度） | | | | 順調 | 順調 | |
| | | | | やや遅れ | | | |
| | | | | 遅れ | | | |

| 【Check】評価（分析） | | |
|---------------|----------------|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 平成26年度は、夏季、冬季、春季休業中を中心に実施しました。事業規模を縮減させたことから、声かけ人数は減少したものの、多くの青少年に帰宅を促し、深夜はいかいを抑止したことから順調としました。また、はいかいでする青少年の年齢層や時間帯を分析し、今後の補導活動の参考資料としました。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 地域からは、ボランティアではなしえない深夜のパトロールとして、非常に高い評価を得ています。今後も、パトロール体制、パトロール箇所などの見直しを行うことなどにより、効率的な事業運営に努めたいと考えています。 民間警備会社に委託し実施することにより、経済性の向上を図っています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること |
|--|
| 本事業は、地域における安心感の醸成につながるため、平成27年度においても、事業を実施する予定です。 なお、本事業は「地域における青少年の見守り体制の充実・強化」の一環として、実施します。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|-----------|
| 事業名 | 非行少年の立ち直り支援と体制強化 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 114 | | |
| コスト | 事業費 | 平成26年度執行額 | | 平成27年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 323 | 千円 | 600 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 子ども総合センター |

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

| | | | | | | |
|------|---|------------------------|-----------|---------|------|------------------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか 非行少年の立ち直りと自立を促進するため、子ども総合センターの体制を充実し、学校、警察、地域等と連携して、非行少年及びその家庭への支援を積極的に行います。 | 活動実績 活動結果は下記のとおりです。 | | | | |
| 活動計画 | 非行少年の立ち直りに向け、実務的かつ緊密な行動連携を行うため、関係機関と非行相談会議を定期開催するとともに、教育・福祉的な視点に立った即時的な対応、連携した取り組みを図ります。 | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | → | 【活動の状況】 |
| | 非行相談対応件数 | 139 件 | 単年度目標設定なし | 109 件 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | 虞犯行為や触法行為のあった児童及び保護者からの相談への対応や相談内容に応じた適切な支援を行うことが、本事業の内容であることから、活動指数として「非行相談対応件数」を掲げました。 （最終目標と最終年度） | | | | | 順調 |
| | | | | | やや遅れ | 順調 |
| | | | | 遅れ | | |

【Check】評価（分析）

| | |
|-----------|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 非行少年の立ち直りに向け、実務的かつ緊密な行動・情報の連携を行うため、関係機関と非行相談連絡会議を毎月開催し、教育・福祉的な視点に立った即時的な対応、連携した取り組みを図ることができました。 また、重篤な困難ケースの場合には、当センターの非行相談担当ラインが地区担当ケースワーカーと連携して初期対応の段階から技術支援として関わることにより、学校、警察、裁判所、児童自立支援施設等との密接な連携ができ、円滑な処遇が実施できました。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 非行相談課長と教育相談課長の統合及び非行相談担当係の見直し等の組織改正を行い、より効率的効果的な運営に努めました。 |

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

本事業は、施策に対する有効性も高く、青少年の健全育成を図るために、必要な事業です。
今後も非行少年の立ち直りと自立を促進するため、「子ども家庭局青少年課」や「教育委員会指導部」、「学校」などの北九州市の組織にとどまらず、「福岡県青少年課」や「福岡県警察少年課」、地域等と連携して、非行少年およびその家庭への支援を積極的に行います。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|-----------------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | シンナー等をはじめとした薬物乱用防止に向けた広報・啓発 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 114 | | |
| コスト | 事業費 | 平成26年度執行額 | | 平成27年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 2,926 | 千円 | 42,400 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 → | | | | 【Do】実施 → 【Check】評価 | | | |
|------------|--|--|---------|-----------------------|--------------------------------------|---|--|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | 本市におけるシンナー等乱用少年の検挙補導人員は平成25年度以降、0人となっているものの、若年層を中心に危険ドラッグの乱用が懸念されるなど、新たな課題も生じており、薬物乱用は、依然として憂慮すべき状況にあります。そこで、薬物乱用の撲滅に向けて、行政と地域が一体となった総合的な対策を推進します。 | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | | |
| 活動計画 | シンナーや危険ドラッグ等、薬物の乱用撲滅に対する機運を高めるため、薬物乱用防止教室の他、小中学生を対象としたリーフレットの作成、街頭ビジョンでの啓発動画の放映等に取り組みます。また、夏季休業中を対象とした全市一斉夜間非行防止パトロールを開催する他、地域における薬物乱用に向けた啓発活動やパトロール等、地域が主体的に取り組む活動を支援する「危険ドラッグ撲滅地域モデル推進事業」の実施を通じて、薬物乱用防止啓発・環境浄化活動の推進に取り組まします。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | → | 【活動の状況】 | |
| | 啓発・環境浄化活動参加者数 薬物等乱用少年の撲滅のため、啓発・環境浄化活動を指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） 16,000人（平成26年度） | 20,316人 | 16,000人 | 21,339人 133.4% | 大変順調 順調 やや遅れ 遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 順調 | |

| 【Check】評価（分析） | | |
|---------------|-------------------|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 薬物乱用少年の撲滅に向けた啓発・環境浄化活動として、引き続き、薬物乱用防止教室や啓発リーフレット配布、啓発動画放映、全市一斉夜間非行防止パトロール、危険ドラッグ撲滅地域モデル推進事業を実施しました。啓発・環境浄化活動の効果もあり、シンナー乱用撲滅に関する市民意識が向上し、シンナー等乱用少年の検挙補導人員が平成25年度以降、「ゼロ」となっていることから、順調と判断しました。 |
| | 【経済性】 【効率性】の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 薬物乱用防止教室や出前講演の講師を子ども家庭局の職員や関係機関に依頼することにより、経済的・効果的に実施することができました。 |

| 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること |
|--|
| 薬物乱用防止教室に加えて、地域単位で啓発やパトロールに取り組むモデル事業を実施する他、小中学生を対象としたリーフレット作成、街頭ビジョンを活用した啓発動画の放映等、視覚的な啓発活動に引き続き取り組みます。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|----------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 地域会議推進事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 115 | | |
| コスト | 事業費 | 平成26年度執行額 | | 平成27年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 2,127 | 千円 | 42,400 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 → | | | | 【Do】実施 → 【Check】評価 | | | |
|-------------|--|---|-------|--------------------|----------------|------|------------------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | 地域ぐるみでの青少年の健全育成・非行防止への取り組みを進めるため、主に中学校単位で、自治会、社会福祉協議会、PTAなどにより組織された地域会議の活動を支援します。 | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | | |
| 活動計画 | 事務経費の支援等を通じて、地域会議の活動を支援します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | → | 【活動の状況】 |
| | 地域会議の活動支援 | | — | — | — | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | 地域全体で、青少年の健全育成・非行防止への取り組みを進めるため、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） — | | | | | | |
| | | | | | | 順調 | 順調 |
| （最終目標と最終年度） | | | | | | | |

| 【Check】評価（分析） | | | |
|---------------|----------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 地域会議開催経費、事業経費の支援等を実施し、青少年の健全育成・非行防止に寄与することができたので順調としました。地域会議は、青少年の健全育成を図る上で有意義であり、必要不可欠であると考えています。現状は、活発に活動している団体とそうでない団体との差が見受けられます。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 予算配分の変更・見直しを行うなど、効率的な執行に努めています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること |
|---|
| <p>青少年の健全育成を図る上で、地域との連携は必要不可欠であり、今後とも当該事業を推進していく必要があると考えています。平成27年度も、団体に対する経費の支援等を実施することに加え、当事業の今後のあり方について各区コミュニティ支援課等と検討を行い、地域の実情に合わせた効率的な支援に努めてまいります。</p> |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|----------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 少年補導委員活動 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 115 | | |
| コスト | 事業費 | 平成26年度執行額 | | 平成27年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 2,257 | 千円 | 42,400 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 → | | | | 【Do】実施 → 【Check】評価 | | | |
|-------------|--|---|---------|--------------------|----------------|------------------------|--|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | 少年補導委員による地域における補導活動や環境浄化活動を推進するとともに、少年非行防止活動についての情報交換を行います。 | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | | |
| 活動計画 | 市少年補導委員連絡協議会に係る会議を定期的に開催します。少年補導委員に対する研修会を開催（年に2回）します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | → | 【活動の状況】 | |
| | 補導活動回数 | 3,882 回 | 3,930 回 | 2,844 回 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 補導活動を行うことで、子どもとの密接な関係を築くことができるため、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） 3,930回（平成26年度） | | | 72.4 % | | | |
| | | | | | 順調 | 順調 | |
| （最終目標と最終年度） | | | | やや遅れ | | | |

| 【Check】評価（分析） | | | |
|---------------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 少年補導委員役員会や研修会（年2回）を定期的に開催することで、少年補導委員の意欲や能力の向上が図られ、情報の共有、関係機関との連携も進んだことから、順調としました。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 委嘱された補導委員一人ひとりが、様々な時間帯で活動を行っています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること |
|---|
| 子どもと密接な関係を築くとともに、補導委員や関係機関との間における情報交換、共有を推進し、より積極的な活動につなげたいと考えています。なお、本事業は「地域における青少年の見守り体制の充実・強化」の一環として実施します。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|---------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 青少年を取り巻く有害環境に関する懇談会 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 115 | | |
| コスト | 事業費 | 平成26年度執行額 | | 平成27年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 0 | 千円 | 42,400 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 → | | | | 【Do】実施 → 【Check】評価 | | | |
|-------------|---|--|----|--------------------|----------------|------------------------|--|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | 青少年を取り巻く有害環境の現状認識の共有と各団体共通の取組みを協議するため、「北九州市青少年の非行を生まない地域づくり推進本部」の非行対策部会等で意見交換を実施します。 | | 活動実績 | 活動結果は下記のとおりです。 | | |
| 活動計画 | 「北九州市青少年の非行を生まない地域づくり推進本部」推進本部及び非行防止対策部会を開催します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | → | 【活動の状況】 | |
| | 推進本部及び非行防止対策部会の開催数 | 3回 | 2回 | 2回 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 非行防止に関する取組みや情報共有化を表す指標として設定しました。 （最終目標と最終年度） | | | 100.0% | | | |
| | | | | | 順調 | 順調 | |
| （最終目標と最終年度） | | | | やや遅れ | | | |

| 【Check】評価（分析） | | | |
|---------------|-------------------|--|---|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 非行防止に関わる関係団体の参加を得て、青少年の非行実態について情報の共有を図り、具体的な施策について検討を進めることができたことから、順調としました。 |
| | 【経済性】 【効率性】の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 関係団体の協力を得て、全市を挙げた体制を実現しています。 |

| 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること |
|---|
| 引き続き推進本部、非行防止対策部会等で、関係機関との情報共有を図りながら、具体的かつ効果的な施策の検討、実施に取り組みます。なお、本事業は「非行防止活動の推進」の一環として、実施します。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|-----------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 非行防止活動の推進 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 115 | | |
| コスト | 事業費 | 平成26年度執行額 | | 平成27年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 7,228 | 千円 | 42,400 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

| | | | | | | | |
|------|---|---|----|--------------|------------------|------------------------|--|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたいのか | 「刑法犯少年の検挙補導者数」は減少傾向にありますが、不良行為少年の補導件数は高水準で推移しているため、今後も警察等関係機関との連携を強化し、児童生徒の規範意識の育成を図ります。また、保護者や地域住民に対して非行に関する現状や対策等の周知を図り、未然防止や早期解決を図るための取組みを進めていきます。 | | | | | |
| 活動計画 | 各教室（非行防止教室、薬物乱用防止教室）の他、リーフレットや啓発動画を活用した啓発活動を実施します。 「北九州青少年の非行を生まない地域づくり推進本部」非行防止対策部会を通じた関係機関との情報共有、連携を図ります。 | 活動結果は下記のとおりです。 | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | → | 【活動の状況】 | |
| | シンナー等乱用少年の検挙補導者数 | | | | | | |
| | 青少年を取り巻く有害環境の浄化や規範意識向上に向けた啓発活動等の成果を図る指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）撲滅（平成26年） | 0人 | 0人 | 0人 100.0% | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック | |
| | 刑法犯少年の検挙補導者数 本市の非行者率は、全国平均よりも高い状況です。また、本市の刑法犯少年の約6割が初発型非行であり、規範意識が希薄化しています。こうした現状を踏まえ、街頭補導や見守り活動を強化するとともに、立ち直りのための対策が必要であると考えており、その成果を図る指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）減少（平成26年） | 977人 | —人 | 848人 | 順調 やや遅れ 遅れ | 順調 | |

【Check】評価（分析）

| | | | |
|-----------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 本市では、子ども家庭局と教育委員会が連携して、非行防止教室等の開催や、リーフレット、啓発動画を活用した啓発活動を行っています。その結果、シンナー等乱用少年の検挙補導者数は平成25年以降「0」を継続しており、刑法犯少年検挙補導者人員についても、年々減少する傾向にある等、啓発活動の効果が現れています。以上のことから順調としました。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 非行防止教室は、少年非行の動向に精通している必要があるため、県警から派遣されている青少年非行対策担当課長が講師を担当しています。これにより、効率的に事業を実施することができました。 |

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

引き続き、「北九州青少年の非行を生まない地域づくり推進本部」非行防止対策部会において、関係機関の情報共有、連携強化を図るとともに、各教室（非行防止教室、薬物乱用防止教室）等を実施することにより、青少年の規範意識を高め、「刑法犯少年の検挙補導者数」「薬物乱用少年」の減少に努めていきたいと考えています。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|------------|---------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|-------|
| 事業名 | 少年サポートチーム推進事業 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | 115 | | |
| コスト | 事業費 | 平成26年度執行額 | | 平成27年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 教育委員会 |
| | | 27,144 | 千円 | 30,347 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 指導第二課 |

| 【Plan】計画 → | | | | 【Do】実施 → 【Check】評価 | | | | |
|---|---|---|-------|--------------------|--------------------------------------|------|----|------------------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | 問題行動を起こす児童生徒やその保護者、また被害にあった児童生徒に対し少年サポートチームによる学校訪問及び家庭訪問などを通して支援し、問題行動の未然防止や早期の解決を図ります。 | | 活動実績 | 市内小学校で安全指導に関するスクールヘルパー研修の開催は増加しています。 | | | |
| 活動計画 | 少年サポートチームの効率的な運用や北九州少年サポートセンター、子ども総合センターとの情報連携の推進を図りながら、学校訪問及び家庭訪問などを通して支援を行います。 | | | | | | | |
| 活動指標 | 指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | 実績 （達成率） | | → | 【活動の状況】 |
| | 非行防止教室等啓発活動 | | 113 回 | 115 回 | 120 回 | 大変順調 | 順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | 小・中学校から依頼を受けて、薬物乱用防止教室および非行防止教室を実施します。市内全小学校で安全指導に関するスクールヘルパー研修を実施します。このため、非行防止教室およびスクールヘルパー研修の回数を指標として設定しました。 （最終目標と最終年度） | | | | 104.3 % | | | |
| | 相談対応等活動 | | 265 件 | 300 件 | 358 件 | やや遅れ | 遅れ | 順調 |
| 小・中学校や保護者から依頼を受けて、少年サポートチームが相談に応じます。このため、相談件数を指標として設定しました。 （最終目標と最終年度） | | 119.3 % | | | | | | |

| 【Check】評価（分析） | | |
|------------------|-------------------------------------|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】 を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 教育委員会の区担当指導主事が学校の生徒指導体制の援助や、学校や地域の対応だけでは解決が困難で深刻な問題を繰り返す児童生徒やその保護者への対応を行うことなどにより、児童生徒の態様、学級や学校の荒れが沈静化し、改善されました。 |
| | 【経済性】 【効率性】 の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 警察官OBと教員OBが相談活動や啓発活動等に精力的に取り組みました。学級や学校の荒れに対する学校からの要請希望も多く、学校や地域の対応だけでは解決が困難で深刻な問題を繰り返す児童生徒やその保護者への対応を行った結果、児童生徒の態様、学級や学校の荒れが沈静化し、改善されました。 |

| 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること |
|--|
| 年度当初に、指導主事が帯同してサポートチームとともに学校の荒れの実態把握に努めます。 区担当指導主事による情報交換や非行相談連絡会議等を活用して、北九州少年サポートセンター、子ども総合センター等関係機関と更なる連携推進を図ります。 |

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

| | | | | | | | | | |
|-----|------------------|-----------|----|-----------|----|------|---------------------------|-----|--------|
| 事業名 | 非行歴を有する青少年の立直り支援 | | | | | | 掲載ページ | | |
| | | | | | | | H25新規 | | |
| コスト | 事業費 | 平成26年度執行額 | | 平成27年度予算額 | | 政策分野 | 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり | 担当局 | 子ども家庭局 |
| | | 10,085 | 千円 | 42,400 | 千円 | 施策名 | 青少年の健全育成 | 担当課 | 青少年課 |

| 【Plan】計画 → | | | | 【Do】実施 → 【Check】評価 | | | |
|---|--|--|---------|--------------------|--|------------|------------------------|
| 目的 | 何を（誰を）どのような状態にしたのか | 深夜はいかいを繰り返したり、非行歴を有する青少年の立直りを図り、再犯者率の低下を目指します。 | | 活動実績 | 「ドロップイン・センター」を運営し、1400人以上に声かけを行ってきました。また、協力雇用主を対象とした見舞金制度や表彰制度、入札資格審査における加点制度等を運営し、協力雇用主会が活動しやすい環境づくりに取り組んでいるので、順調としました。 | | |
| 活動計画 | 非行歴を有する青少年の立直りを支援するため、小倉中心部において、立直り関係のワンストップ相談窓口機能と居場所機能を提供する北九州市青少年支援拠点「ドロップイン・センター」を運営します。また、協力雇用主を対象とした見舞金制度や表彰制度、市登録業者の入札資格審査における加点制度等の取組を通じて、雇用の受け皿となる協力雇用主の拡大を図るとともに、あわせて、青少年向けの就労支援プログラムを展開します。 | | | | | | |
| 活動指標 | 指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方） | | 前年度実績 | 目標 | 実績（達成率） | → | 【活動の状況】 |
| | 北九州市青少年支援拠点「ドロップイン・センター」の深夜声かけ数 | | 1,354 人 | — | 1,416 人 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| | ドロップイン・センターが行う深夜パトロールでの青少年等への声かけを行うことが非行歴を有する青少年の立ち直りにつながると考え、活動指標としました。 （最終目標と最終年度） | | | | — % | | |
| | 協力雇用主見舞金登録者数 | | 10 人 | — | 17 人 | 順調 やや遅れ | 順調 |
| 協力雇用主見舞金の利用登録者数の増加が非行歴を有する青少年の立ち直りにつながると考え活動指標としました。 （最終目標と最終年度） | | — % | | | 遅れ | | |

| | | | |
|-----------|----------------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | 【活動の状況】を踏まえた分析 | 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | ドロップイン・センターが行う深夜声かけパトロールでは、非行が重篤化している事案について、子ども総合センター等関係機関と情報を共有するなど、迅速な対応を図りました。また、見舞金制度は、非行歴のある少年を雇用する協力雇用主の負担感軽減につながり、協力雇用主の拡大や就労促進につながると考えています。表彰制度や入札資格審査における加点制度等、協力雇用主を対象とする各種取組についても、協力雇用主会を中心に高く評価されており、今後、協力雇用主の拡大に寄与することが期待されます。一方で、協力雇用主は業種に偏りがあり、今後、職種幅を広げていく取り組みが必要です。 |
| | 「経済性」「効率性」の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | ドロップイン・センターは、地域団体の活動が難しい深夜時間帯に行っているものです。こうした深夜時間帯に対応するため、熱意のあるNPO法人に委託して実施していますが、警備員等によるパトロールよりも経済的で、また、他機関と連携した対応にも一定の実績をあげるなど、コストに十分見合う成果をあげているものと考えています。協力雇用主を対象とした施策についても、協力雇用主会から高く評価されており、あわせて、そのモチベーションの向上につながっています。 |

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

ドロップイン・センターについては、重篤化した非行事案もあったことから、今後も、関係機関と連携の下、どのような支援が可能なのか、検討しながら運営していくこととしています。また、協力雇用主活動の活性化に合わせて、協力雇用主の業種拡大に取り組む他、少年の就労支援のあり方についても検討、実施していきたいと考えています。